鶴岡市社会福祉協議会

おだがいさま

odagaisama

第29号
平成22年
7月15日発行

羽黒地域子育てサークル
交流の輪
どんどん広がっています

平成21年度　事業報告・決算報告（P2）
私のまちの地域福祉実践活動（P3）
サマーチャレンジ参加者募集（P3）
情報掲示板（P4）

羽黒地域では、各地区ごとに子育てサークルを週１回開催しており、お母さんやおばあちゃんと0歳～就学前までのお子さんが一緒に交流しています。

各サークルのリーダーと鶴岡市羽黒子育て支援センターが協力し、誕生日会・七夕会・クリスマス会などの行事を行っております。６月は庁舎の保健師さんによる歯磨き指導がありました。

平成21年度 事業報告および決算報告

五月二十六日に行われた理事会と翌日の評議員会において、平成二十一年度事業報告と決算報告について承認されましたので、その主な内容をお知らせします。

事業報告

平成二十一年度も本市の少子高齢化、高齢者単身世帯の増加、一昨年からの雇用環境の悪化による低所得者・一時生活困窮者への支援など、多様な住民の福祉課題・生活課題の解決を図るため、各関係機関・団体とも連携しながら積極的に取り組みました。

平成21年度に開設した鶴岡市鶴岡西部児童館

地域福祉事業

学区・地区社協や自治会組織等と連携しながら各地域で住民福祉座談会を開催し、住民の方々が自分たちの暮らす地域の福祉・生活課題に「気づき、考え、実践する」ためのきっかけづくりをすることができました。

また、第一回「つるおか市民活動まつり」を開催し、参加者にボランティア活動の重要性を周知することができました。

高齢者福祉事業

各施設で、一人ひとりの利用者の理解に努め、個別支援計画書の内容について見直しを行いました。今後もサービス関係者が共通の視点で支援を行えるよう努めます。

また、鶴岡市からの委託を受け、四月一日に「地域包括支援センター」を開設し、高齢者が信頼して相談できる窓口や適切かつ迅速に対応できる体制の構築を目指しました。

障がい者福祉事業

個別支援計画書を利用者と共に作成し、サービス利用の目標を利用者と職員が共有しました。さらに、各種行事での出店などを通じて、地域住民と交流を深めることができました。

また、鶴岡市から委託を受け、障害者生活支援センターに「障害者就業開拓支援員」が配置され、就業相談や雇用相談に応じたり、受入れ企業の開拓などを行いました。

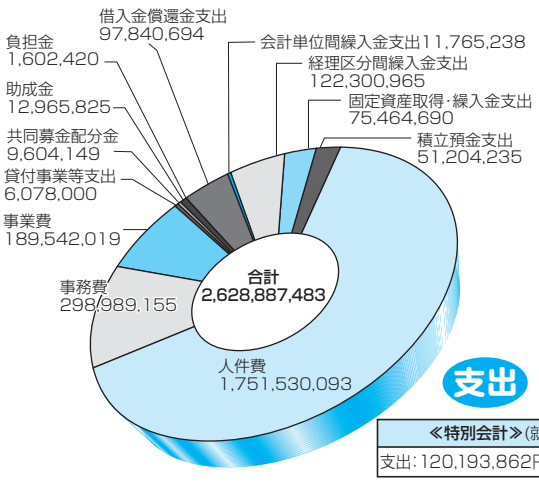
児童福祉事業

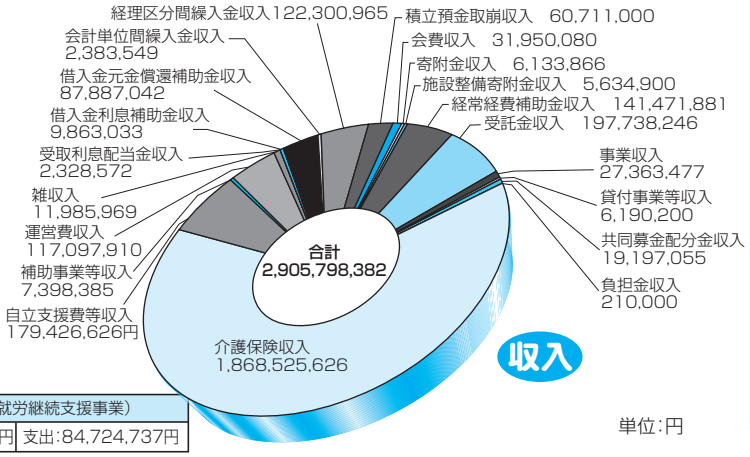
安全で安心できる遊びの提供や魅力ある事業の企画・実施と情報発信に努めました。

また、鶴岡市から指定管理者の指定を受け、四月一日に「鶴岡市鶴岡西部児童館」を開館し、年間約二万人の来館者がありました。「鶴岡市子育て広場まんまルーム」では七月一日より、飲食のできる「親子サロン」や授乳室を設け、好評を得ています。

決算報告

一般会計





≪特別会計≫(就労継続支援事業)	
支出:120,193,862円	支出:84,724,737円

単位:円

私のまちの「地域福祉」実践活動！

去る6月21日、鶴岡市総合保健福祉センター（にこ♥ふる）にて、鶴岡市学区・地区社協連絡委員会、鶴岡市社会福祉協議会の主催による「学区・地区社協活動実践報告会」が開催されました。当日は、三つの地区社協より日頃から取組んでいる「地域福祉活動」についてご報告いただきました。

実践報告

湯田川地区社会福祉協議会
会長 **長谷川松夫**さん

大山社会福祉協議会
会長 **小林達夫**さん

由良社会福祉協議会
会長 **佐藤美喜雄**さん

湯田川地区社会福祉協議会

会長の長谷川松夫さんから「一人暮らし高齢者宅への安心袋の設置」についてご紹介いただきました。一人暮らし高齢者の緊急異常時にすぐに対応できるように、緊急時の連絡先や主治医が記されている「安心シート」を入れる袋を設置する取組みを報告いただきました。

由良社会福祉協議会

会長の佐藤美喜雄さんから、隣組長や隣組福祉員などを通じて、地区内の全世帯に調査票の記入をお願いし、その情報をもとに取組んだ「防災福祉マップづくり」について、地元消防団とのかかわりも交えて、ご報告いただきました。

大山社会福祉協議会

会長の小林達夫さんから「住民福祉座談会・地域福祉連絡会議と福祉協力員の活動」として、昨年度、十三の町内会、各団体で行われた住民福祉座談会の取組み内容と、それをもとに実施された地域福祉連絡会議について、福祉協力員の活動実践も交えながらお話いただきました。

講演

山形県社会福祉協議会人材研修部副部長柴田邦昭氏より『これからの小学校区域における福祉活動のあり方について』と題してご講演いただきました。三地区の実践報告の内容を踏まえ、地域にある課題（問題）に対して、「誰かが何とかしてくれるだろう！」の発想ではなく、その地域の課題に気づき、住民自ら取組んでいくことが今後大事であり、その課題解決に向けた仕組みづくりがますます大切になるとのお話をいただきました。

サマーチャレンジ 参加者募集

8月1日(日)～31日(火)の期間に開催します！

サマーチャレンジは、夏休み期間を利用して、小・中学生を中心に高校生、大学生、一般の方も対象にして、地域を知り、おだがいさまの心を育むために実施しています。

各福祉センターでは、多彩なボランティア体験メニューを企画し、

たくさんの皆さんのご参加お待ちしています♪

※活動内容や日程、申込み方法は各福祉センターで異なります。詳しくは、お近くの福祉センターまたは鶴岡市ボランティアセンター（☎23-2970）までお問合せ下さい。

情報掲示板

「サポートセンターかでる」出張相談会

障がいのある方で仕事を探している方、仕事のことで悩んでいる方や、ご家族などの相談に応じます。

●日　時　平成22年６月～平成23年3月の第2木曜日
午前10時～12時

●場　所　鶴岡市総合保健福祉センター（にこ♥ふる）2階
障害者相談支援センター　相談室

●定　員　一回につき2名まで（先着順）
※事前に申し込みが必要です。

●相談員　◎庄内障害者就業・生活支援センター
「サポートセンターかでる」支援ワーカー
酒田市新橋1丁目1-18 ☎0234(24)1236
◎鶴岡市障害者相談支援センター
就業開拓支援員

●申込み　鶴岡市障害者相談支援センター
（担当：五十嵐・阿部）
☎25－2794　FAX25－2476
※来所、電話やFAXでの申し込みをお受けします。

お詫び

おだがいさま28号でお知らせしました鶴岡市ボランティアセンターの連絡先に誤りがありました。

正しくは☎23-2970です。お詫びして、訂正いたします。

苦情解決にあたる第三者委員について

鶴岡市社会福祉協議会では、本会が提供している福祉サービスの質や利用者の満足度を高めるため、利用者及び家族等からの苦情の解決に努めております。

苦情は、各福祉センター・各施設および、第三者委員が受付しています。

鶴岡市社会福祉協議会の提供する福祉サービスの苦情解決にあたる第三者委員の方々です。

氏　名	住　所	電話番号	摘　要
瀬尾千代子	鶴岡市みどり町22-20-1	23-3033	元介護施設職員
庄司　敏明	鶴岡市末広町12-15	23-9580	元知的障害者入所更生施設職員
阿部　秀	鶴岡市常盤木字木原96	57-3002	主任児童委員
柳沢　卓	鶴岡市五十川丁123-1	45-2253	元中学校校長

鶴岡地区福祉バス抽選会（11月～22年3月分）事前申請受付

鶴岡地区福祉バス抽選会（11月～22年３月分）のための事前申請を次の日程で行います。

※降雪が予想される11月～3月までの冬期間は原則として土・日・祝日は運休となり、運行区域は庄内地域限定となります。

●申請期間　平成22年9月6日㈪～9月17日㈮まで
※1団体1回の予約ができます。

●申込み/問合せ　鶴岡福祉センター総務課
鶴岡市総合保健福祉センター2階　☎24－0053

ご寄付ありがとうございました

みなさまのご厚志に心より御礼申し上げます。
（平成22年4月21日から平成22年6月20日までのご寄付を掲載しています）

★一般社会福祉事業へ

◎鶴岡福祉センター

- 東北電力　鶴岡営業所　様　16,907円
- 小山武雄　様　掛け軸
- ニューナイス歌謡会　様　30,000円
- 村上愛歌会　様　50,000円
- 五十嵐新一　様　10,000円
- 国際ロータリー第2800地区　様　37,720円

◎羽黒福祉センター

- 宮田博正　様　200,000円
- 羽黒町カラオケ同好会　様　100,000円

◎温海福祉センター

- 田川建設労働組合　温海分会　様　10,700円
- 五十嵐敏之　様　100,000円
- 佐藤恵一　様　50,000円

★鶴岡市ゆうあいプラザへ

- 成澤農園　様　さくらんぼ20パック

★高齢者福祉センターおおやまへ

- 佐藤正喜　様　ひょうたんマラカス

★くしびき保育園へ

- 鶴岡自動車学園　様　交通安全紙芝居

★温海デイサービスセンター愛寿園

- 神明町老人クラブ　様　バスタオル1枚　タオル18枚
- 温海地区婦人会　様　タオル250枚

ほっとコラム

「ふれあい給食」

藤島福祉センターでは「ふれあい給食交流会」を実施している。6月は手作り給食の月。今までは元学校栄養士さんによる献立だったが、今回はインターネットで調べて旬の素材で簡単に出来る献立を採り入れた。

デザートはオープンイチゴ大福（?）見た目がかわいくて豪華に見える。作り方は平べったい白玉を作り、市販のあんことホイップクリーム、イチゴを乗せただけの簡単なものである。白玉団子にあんこをかけて食べるよりもおしゃれだと喜んでくれ、「今度孫が来たら作ってあげる。これおばあちゃんが作ったの？とびっくりされるかな」と嬉しそうに帰っていった。包まれていない分食べにくいかなと心配したが、その言葉にほっとした。

（H）

おだがいさま
第29号
平成22年7月15日発行
発行部数　49,300部

編集・発行
社会福祉法人 鶴岡市社会福祉協議会
鶴岡市泉町5番30号
TEL 24-0053　FAX 23-9110
ホームページ http://www.shk01.jp/

藤島福祉センター　TEL 64-3100
羽黒福祉センター　TEL 62-4534
櫛引福祉センター　TEL 57-5300
朝日福祉センター　TEL 53-2795
温海福祉センター　TEL 43-3266

この広報誌は、赤い羽根共同募金の配分を受けて発行しています。